

令和5年度 第2回弥富市総合教育会議

1. 日 時 令和5年11月10日(金) 午前10時30分～
2. 場 所 弥富市役所4階 防災会議室
3. 出席者 市 長 安 藤 正 明
教育委員会
教 育 長 高 山 典 彦 教育長職務代理者 阿 部 康 治
委 員 矢 野 浩 一 委 員 宇 佐 美 貴 江
歴史民俗資料館館長 伊 藤 隆 彦 生涯学習課課長 飯 塚 義 子
4. 説明者 教 育 部 長 渡 邊 一 弘 教育部次長 柴 田 由 美 子
学校教育課課長 田 畑 由 美 子 学校教育課主幹 城 知 広
学校教育課課長補佐 日 原 友 美
5. 開 会
6. あいさつ
7. 議 題
(1) 弥富市小学校再編整備方針(案)について (資料1)別綴
8. 報告事項
・ いじめ重大事態報告について (資料2)
・ スクールカウンセラーの活動状況について (資料3)
・ 中学校再編の状況について (資料4)
9. 閉 会

.....○.....

5. 開会

- 部長より ただいまより令和5年度第2回弥富市総合教育会議を開催いたします。はじめに安藤市長よりごあいさつを申し上げます。よろしくお願いします。

.....○.....

6. あいさつ

- 市長より 改めまして皆様おはようございます。本日は大変足元の悪いこととなりましたが、令和5年度第2回弥富市総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また平素は当市の教育行政に対しまして、教育委員の皆様方には非常にお力添えをいただいていますことに感謝を申し上げます。ありがとうございます。今週の火曜日から子供たち、中学2年生の子供たちが広島研修ということで順次出発をしているところです。今回は名古屋駅集合ということで、大きな混乱もなく出発をしていると聞いているところです。実際に子供たちには現地に行っていて肌で感じてもらって、また聞いて、見てということで、命の尊さや平和の大切さについて学びを深めていただけたらと思っているところです。平成11年3月12日、弥富市では平和都市宣言をしています。本市としましてはこの学びを通じて子供たちがこれからの、将来に渡っての恒久平和を願っていただければと思っています。また小学校では野外活動、修学旅行についても計画通り順調に実施できていると聞いています。こうした学校の行事、コロナ禍でいろいろと止まっていましたが、大切なことであります。このことにより子供たちが一層、友達、仲間の中で一体感を発見してよりよりこれからの長い人生の中での関係性を少しでも作っていただけたらと思いますし、またこのことが大人になっても皆さんの頭の中ではいい思い出になると思いますから、思い出の1ページとしても大切な事業だと思っていますから、今後も市としても全面的に協力をしていきたいと思っています。本日の会議ですが、先ほど部長からも紹介がありましたが、小学校の再

編整備方針(案)についてご協議をいただくことになっています。活発なご意見等、賜りますことをお願い申し上げまして、簡単ではございますが冒頭のあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いを申し上げます。

- 部長より ありがとうございました。

.....○.....

7. 議題

- 部長より ではこれからの議事進行については市長にお願いします。どうぞよろしく願いいたします。
- 市長より では議事進行しますが着座にてよろしくお願い致します。はじめに議題（１）弥富市小学校再編整備方針（案）について事務局から説明をお願いします。
- 学校教育課長より 資料１をごらんください。弥富市小学校再編整備方針についてです。背景については以前からの続きですが、整備方針の具体的内容です。これからの時代をたくましく生きる力を育む教育活動を展開します。施設整備は魅力的な再編校とするため、校舎の増築及び既存建物等のリニューアル工事を実施します。校区が広くなることから一部にスクールバス通学を導入します。再編に向けた様々な事項については、児童や保護者、教職員や地域住民等を構成員とした再編委員会、及び検討部会を速やかに設置するよう整備していきます。校舎の増築及び既存建物等のリニューアル工事等の施設整備を着実に推進するため１２月議会にも耐力度調査等を行いながら来年度以降の設計について行っていけるよう補正予算の上程を行います。資料１の緑の再編整備方針、ホチキス留めの大きい資料をごらんください。今までの整備方針（案）として出されたものと、少し変更した部分があります。右側の上から２ブロック目、児童居住地の分布です。案として半径２キロ圏内に居住するということで当初お示ししたところですが、より徒歩通学圏内に近い距離、３０分以内で歩ける距離として半径１．５キロメートル圏内ということで、距離の変更及び児童数の変更をしました。（案）のときとはその部分を変更しています。こちらが方針です。１枚めくっていただ

きますと、9月から10月13日までの期間で行いましたパブリックコメントの結果の公表です。5人の方から20件の意見をいただきました。意見の内容としては別案を提案された方。また十四山中学校を使い新設を希望されるという案の方。小規模校や少人数のメリットを出され、人数が増えて大丈夫なのかというご意見がありました。また通学についてスクールバスの関係で何件か意見が出されました。それについては家まで迎えに来てくれるのかとか、徒歩通学、歩かなくなって大丈夫かのような内容。通学時間がどうなるかといった意見をいただきました。十四山西部小学校、駐車場はどうなるのか。全員分ありますかというご質問がありました。あとは教育環境が、学校運営に関することのご質問、ご意見がありました。人数について市街化区域についても真剣に考えていただきたいというご意見もありました。以上がパブリックコメントの内容、いただいた内容です。それについては教育委員会としての考え方として右側に載せてあります。今回、先ほどの教育委員会でも同じようなことを出させていただいて、弥富市小学校再編整備方針として新たに冊子を変更しました。最後に小規模小学校の再編スケジュール案です。本日、定例教育委員会において、再編整備方針（案）の十四山西部小学校で小学校の再編整備方針を行っていくということの協議をしました。これについて12月議会で報告をして、先ほども言いましたように事前調査のための耐力度調査等の補正予算を上程すると考えています。現在出張説明会としてまだまだ地域への説明会は行っています。今後も説明会は進めていく予定です。来年度、6年度からは再編委員会を設置して、まず校名、早く校名を決めないといけないということで校名の募集等を行います。施設に関しては来年度設計を行い、その後、工事等を行っていきます。再編委員会には教育計画、学校運営、通学関係という事業、その部会を立ち上げて行っていく、令和9年度には新しい建物の内覧会を行い、閉校記念行事や閉校式を行い、令和10年4月を新しい学校として迎えるという計画を立てています。以上です。

- 市長より ただいま事務局より小学校再編整備方針（案）について資料に基づいて説明がありましたが、このことについて委員の皆様、何かご意見がありましたらよろしく願いいたします。教育委員会をやってどんな意見が出たんですか。

○ 学校教育課長より 先ほどの中で委員からの意見ですが、学校がなくなる地域の方の中で60代後半以上、年齢が高い方で子供さんがいない方については学校がなくなるのはさみしいという意見が出ているということや、小中学校のお子さんがある保護者の方についてはスクールバス通学ができることはありがたいので合併を望む声があがっているということをしていただきました。パブリックコメントにもあるのですが、外国人への教育の関係が、パブリックコメントの中でもありましたが、パブリックコメントの中では小さい学校なので外国人への教育がうまくいっているのではないかということでしたが、大きい学校でも行っていますし、小さいから良いというわけではないということです。大きい学校でも外国人の教育、日本語教育は行っています、やっていけますという内容です。スクールバスについて帰りがどうなるのかという話が出てきまして、行きについては今は登校の時間に合わせながら考えていき、帰りについてももちろん考えていくことになります、というようなことです。少人数のメリットがパブリックコメントの中にあっただのですが、少人数のデメリットということもあります。1クラスだといろいろなことが起こっても逃げられない、ほかのクラスに行くことができないということで、今の事例では転校を考えられた事例もあるということを、教育委員会の中では話し合いがありました。以上です。

○ 部長より まずは教育委員の皆さまからのいろいろな意見を紹介してもらいました。いろいろな意見の中で、小規模学校がまとまってしまうと少し大きな規模になってしまうことが心配で委員の中からも大きくなった中で心配だということも声がある中ではあるが、これまでの説明をしてきたことでもあるのですが、やはり一定規模になることによって子供たちがクラス替えができるということで、場所、苦しくなくなる、自分たちそれぞれの場所になるのではないかと、先ほどの話では逃げることができる。1クラスでは逃げることができないけど、クラスが大きくなることで子供たちの逃げ場というか、居場所というか、そういうのが見つかるということではいいよねという話がありました。もちろん駐車場の話も言われる中で、やはり大きな学校、300人の大きな学校になるとどうしても保護者の方も歩いて、自転車、なかなか来られない方も多くなりますのでやはり駐車場が心配ですよというご意見も委員の中からはいただいています。もちろ

んそれに対しての事務局で持っている案について話をさせてもらう中で説明もさせてもらっています。こういった話をする中で、今回の（案）についてはいろいろ今後先の検討する、市と協力してやらなければいけないところ、相談しなければいけないところもあるが、案のとおり進めていくことでよいのではないかという意見で委員の皆様からはお話をいただいたところです。

- 市長より はい、ありがとうございます。一番は子供たちの教育環境がよりよくなるといけないと、一番の目的だと思うのですが、300人ほどの規模ということですが、それほど大きな学校じゃないと思うのですが。今の学校から比べたらやはり3倍、4倍になるわけで大きく感じるのですが、全体的にみたらいい規模かなと。2クラスくらいで、なんとなくいいかなと思うのですが、それをうまくマネジメントして10年4月に向けて進めていかなければならないと思っているのですが。スクールバスのこともいろいろまだ細かいことはこれから調整されていくと思うのですが、総体的には大変、安全面からいってもいいのではないかということで。外国人の教育というのは学校へ来れば少人数だろうが、1クラス20何人、30人になろうが、そんなに変わらないと思うんですね。外国人がそこへ何人入るのかわかりませんが、それなりに考えて先生も当たられると思いますし。まだちょっと何も決まっていないのですが、今回、市を受験した令和6年採用の職員の中に、まだ合格、不合格は出ていないのですが、外国籍の方がいまして、面接されたのですが、大変すばらしい方で、その方が入ってくれるといいかなと思っているのですが。ポルトガル語と英語ができる。そして日本生まれ、日本育ちですので、日本語もちゃんと書けますし、そういったマッチングというか、外国人のあいだに入っているいろいろな世話をしたいという希望で市を受験してくれたので、子供たちのそういった教育の面、生活面でもだいぶ相談になってもらえるのでぜひ採りたいのですが、まだわかりません。そういった方もいますし、また探せばそういう方もいると思いますので、そういう方をアドバイザーとしても入っていただいてというのも1つかなと思っています。パブリックコメントの中でいろいろなご意見をいただいているのですが、市街化調整区域を市街化にという話、よくよく市議会でも質問がありますが、そもそもできない話なんです。今、車新田地区を市としては1地区、最後だと思うのですが、市街化

に編入しようと思っているのですが隣接をしていないといけない。市街化に隣接したところは市街化調整区域でも市街化に替えることはできるんですが、ぽつんとそこだけということはできないのでそもそもが難しいですし、市街化を作ったからといって人が来るとは、これ限らない。人口減少の中であって、人の取り合いですので。南のほうの方がそこへ引越ししてきても南が過疎化になってしまいうこともあるので。まだまだ市の中で市街化で空いているところもあるので、なかなか新規では難しいかなと思っています。なかなかそれが理解してもらえないものですから、ちょっと困ったところですけど。たくさんのパブリックコメントでもご意見をいただき、また教育委員会として市民に向けての回答ということで、してもらっているところですから、ご理解はいただけるのではないかと思います。また新しい10年4月開校に向けて、それからいろいろなハード面の整備をしなければいけないので、12月の議会でも耐力度調査、いまの校舎の耐力度調査とボーリング調査ということでやろうと思っているところです。それをきっかけにスケジュールが決まっているので、それに向けて予算付けをして、環境整備、教育環境の整備をしていきたいと思っていますところ。私、途中言っていましたけど、新しい校舎を建てたいといったのですが、学校を、なかなかそれも難しくて半分建てて半分既存の校舎を利用してとなりますが、でも教室の中は新しく建てたところと改修したところと同じようにしていきたいと思っていますので、学びの環境は一緒にできるのではないかと思いますところ。ほかに教育委員の皆様方、何かお気づきの点がありましたら、なんなりとおっしゃっていただければと思います。

- 部長より せっかくの会でございます。先ほど、この機会に何か。
- 市長より 駐車場の話、先ほどの話ですが、少し整備をして駐車場を広げるのはもちろんですが、グラウンド使えないのですか。隅っこを。真ん中はいかんですが、端っこというか、隅っこを。
- 部長より そうですね。それはいま、委員からの質問でもあった中でお答えさせていただいているのですが、グラウンドの東のところにもともと外に50台から60台の駐車場を持っているのですが、中に50台くらいは作れるだろうと思っていますし、また学校の南側に水路が、おそらくあそこも車を停められるだろう

と思っています。ただ300台を停めるのは難しいと思うのですが。

- 市長より 近くの方もいらっしゃいますし。300人生徒に対して300台ということはまずないですからね。近隣の駐車場でも借りられればどこか。長寿の里さんとか。ちょっと遠い？
- 市長より 高雄工業さんが。
- 委員長より いや、十四山中学校が空くのでそこへ置いて、スクールバスが動き出すので、そのころには。スクールバスでシャトルバスの的にやるかとかいろんな案は出ておりますけれども。現実問題としてまだできるかどうかわかりませんけど。
- 部長より いま言われるようにタカオさんは、土日使えるかどうか。
- 市長より 平日ですからね。難しいですね。土日だと借りられるかなと思うんですけどね。
- 宇佐美委員より あと学校の跡地というか、結局、十四山中学校もそうですが、令和7年から令和10年のあいだに4校、学校が空くことになるので、そこをいったいどうするのかという不安も出てくると思うので。
- 市長より いま、子供たちがいる中で機能していくのは、私はどうかなと思って。いろいろなご意見を伺っておいて、そういうのは令和10年の4月以降でもいいのかなと。ちょっとタイムラグというか何も活用できない時間があるのですが、そのほうがいいのかと思いますね。すぐ4月に学校をしますよということで工事に取掛かるとか、そういうことはちょっとできないのかなと思いますね。実はきのうも海南病院からちょっと話にみえて、事務部長さんですけど、海南病院を令和15年から20年にかけて移転を考えていると。今の病院がある程度経つと大改修があるので、今回ちょっとあの建て方ではできないということで移転をしたいという話があるんですよ。その中で学校、どこか使ってもらえるといいかなと思いますので。病院が来て反対される地域はあまりないと思いますので。あれだけの大きな病院が来るので。そんな話もあって、学校が空きますからという話をさせてもらっているんで、そういったこともあって。それぞれの学校をうまく活用していきたいなと思っていますので。栄南小学校は商業施設がないので、そういった要望も聞いているので。そういったものが何か来ていただける

といいかなと思って。アンテナを高くしているんですけどね。うまく校舎を利用して教室を利用した、例えばですが卓球くらいですから教室でできてしまうのかなと思って。弥富市は卓球人口も多いので。エアコン付いているので快適な中で卓球をやってもらえばいいのかな、そういうのもあります。また今、愛知県が進めていますけどステーションA Iと言って起業、新しく事業を起こされる方に対して貸し事務所的な使い方もできるのではないかと考えています。いろいろなことが考えられますから、そういうことをいまは情報収集をしながらちょっとずつ進められればいいかなと思っています。とはいうものの十中が直近に迫っているのです。あそこも、グラウンドは、今、市が考えているのですが、校舎が大きい校舎なのであの活用はどうしようかと思っていますので、また委員の皆様もいい案がありましたら教えていただければと思います。ほかに何か。

- 教育長より 先ほど市長のお言葉の中に、既存校舎を当初は市長はすべて新築ということをおっしゃっていただいて、でも財政的なことを考えた場合に難しいなということ。でも中に関しては既存校舎を使うのだが、中に関しては新築と同じ程度のものにとという言葉をしていただいて本当にありがたく思います。やっぱり地元で意見交換会をしていると、やはり今まで日の出小、弥富中学校がそうであったように、学校を造るときはみんな新しくなるのだという既成概念というのですかね、そういうものだと思っている方がいるのですが、それを市政が苦しいのは十分私もわかっていますので、単なる長寿命化というと、今、桜小だとか弥生小、いま弥富中や北中学校がやっていますが、やっぱり本体の安全という部分であって、なかなか仕上げの部分では従来のままというところもあるので、それを一歩踏み込んだ長寿命化というのか、子供たちがよかったと思えるような、地域の方がよかったと思えるような校舎にさせていただくことができればと思っていますので、ぜひともお願いしたいと思っています。

- 市長より 今、教育長の話では日の出とか弥中とかが新しくなって特色ある学校になっていると思うのですが、何か新しい校舎を造るので、特色を出すには何かいい案があればと思いますし、先進的なことをやってあげたいなと思っていますから。何かないですかね。

- 教育長より そうですね。またそういったところをこれからまた委員の皆さん

の意見を聞きながら。

- 市長より 北中がランチルームといって、でかいワンフロアであったんですが、300人くらいならそういったこともできるのかなと。難しいですかね？それも1つとして、各教室がいいのであればそれでいいんですけど。何かあるといいですね。
- 宇佐美委員より 図書館が学校の中にできて、そこを地域の人たちも使えるということなので、地域の方が学校と連携できるような。今でもいろんなことをやっていると思うんですが。そういうのもあるのかなとか。
- 市長より 学校、平日、子供たちが授業を受けているあいだに地域の方たちが来るというところが学校としては。
- 教育長より もちろんセキュリティをきちんとして、当然そのときは常駐の司書という方もいると思うんですが。でも、いいと思いますよ。で、放課になったらその方々が子供たちと遊んでいただいたりしていただければ本当にありがたいので。
- 市長より 不特定の人が学校へ入ってくるというのはちょっと心配な部分もありますけど。地域に解放された学校というのも1つの利かなと思っています。いいですよ。そうすると図書カードも、蔵書も使っていきますよね。例えばそこへ新聞でも、毎朝の新聞を読みに来る、近所の方もみえるかもしれないですよ。地域の方と交流できるような、そういうコンセプトで設計してもらっているものですから。生涯学習ほどじゃないですけど地域の方が子供たちに何か、昔の遊びでもなんでもいいですから、そういった授業が、放課後になるのかも、スクールバスですから難しいかもしれませんが、昔は道徳と言ったのですが、そういった授業を地域の方にやっていただいてですね。先日、海南こどもの国で秋祭りがありまして、4日には蟹江警察がパトカーと白バイを持ってきてくださって子供たちすごく喜んで。パトカーの中には乗れなかったんですが、白バイにまたがったりして喜んでいました。5日は弥富市の建設業協力会がユンボとかダンプを持ってきて子供たちを実際に乗せて中でいろいろなものを触らせていたのですが、1000人くらい来たと言っていましたので、子供たちが。町のなんてことない物に子供たちはすごく興味があるんですよ。本当になんでも子供たち

は素直に喜んでくれるものですから、そういったことを大事にしていきたいなと思っていますし。これは全部の学校でそうですけどね。そういったことも授業の中でやってもらえるといいかなと思っています。今は建設業、建築、あらゆる分野で人手不足ということですから、今から興味を持ってもらおうと子供たち、高卒の工業高校卒の子供たちはすごく引っぱりだこで就職は100%というくらいですから、そういった面に向けても1つの選択肢としていいのかなと思っています。ご意見はいいですか。ありがとうございました。

- 市長より 協議事項としましては以上ですので、事務局へこの後はお返しさせていただきますと思います。よろしくお願いします。

.....○.....

8. 報告事項

- 部長より それでは続きまして、報告事項に入ります。はじめに「いじめ重大事態報告」ということで、よろしくお願いします。
- 城主幹より 資料2、いじめ重大事態報告の用紙をごらんください。まず「重大事態」とは何かということで、いじめ防止対策推進法第28条第1項に以下の2点書かれています。「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身または財産に重大な被害を生じた疑いがあると認めるとき」。2つ目が「いじめにより当該学校に在籍する児童が相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認められるとき」ということで、特にB「相当の期間の学校」というのはいじめを理由に年間30日程度の欠席があった場合となっています。そのうら、別紙で資料を置かせていただきました、別冊の資料をごらんください。（個人情報のため非公開）
- 市長より 経過観察というか、学校の対応、大変だと思うんですけど、こういう案件に対しては、今後、見守っていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- 部長より では続いて、スクールカウンセラーの状況と中学校再編について続けて説明をお願いします。

○ 次長より では資料3をお願いします。スクールカウンセラーの児童実績報告書4月から8月分をごらんください。市内小中学校に配置された13名のスクールカウンセラーからの報告をまとめました。1. 相談内容については子供や保護者からの相談件数はもとより、教職員との相談件数も非常に多く上がっています。とりわけ⑪心身の健康、1. 不登校の問題については心理の専門家であるスクールカウンセラーに相談して多角的な見方で子供たちに寄り添って子供を支えていこう、そんな学校の姿勢がこの数字に表れているのではないかと、自分は思っています。またカウンセラーの先生が教室に出向いて一緒に給食を食べる。一緒に掃除をする。休み時間に子供たちに自然に関わったり、そんなこともカウンセラーの先生は積極的にやっただいて、チーム学校の一員として連携体制の充実に取り組んでいただいている中です。先ほどの主幹からありましたが、緊急支援についても学校だけじゃなくて保護者の方もスクールカウンセラーとの面談、全員面談をお願いしたい。そんな声も教育委員会に挙がってきています。そういった場合においても早急な対応、丁寧な支援、そんなものができるのも弥富市にスーパーバイザー、並びにたくさんのカウンセラーの配置があるからこそだと、本当に痛感しています。一番下は8月末より開設した、カラフルの相談件数を示しました。9月からは毎月第2、第4土曜日にアクティブの場所を使っています。発達検査、医療機関とか児相（児童相談所）に行くと今、半年待ちだそうです。そんな中、カラフルではスーパーバイザーで発達検査を行っているため、9月からは予約がいっぱいで空きがない。そんな状況です。次年度以降も保護者に寄り添ったこうしたような切れ目のない支援体制を目指していきたいと思っています。続きまして資料4をごらんください。中学校の再編について関わる内容です。カラー刷りのものですが再編委員会が終わったあと、市内全小中学校の保護者には連絡アプリで、学校にはメールで送付をして周知を図っています。次ページ、最後の資料をごらんください。再編まで1年半を切りました。今後、交流活動が本格的になっていきます。1. 狙い、2. 基本的な考え方をまとめてみました。3. 令和5年度中に実施したいことについて、掻い摘んで少し説明をします。1つ目の「・」。主幹による弥富中1年生を対象にした出前授業を12月に行います。ワークショップを取り入れて、新制、新しい弥富中を作って

いく。そんな気持ちを高めていきたいと思います、「・」の2つ目。3学期中に特別支援の子供たちの何かしらの交流の場を設けていきます。今月部会を開催して、具体的に立案、企画を行っていきます。3つ目。学校をつくろうプロジェクトを立ち上げて、3中学校の生徒会、交流会を行います。十四山中と弥富中は再編に向けての生徒準備委員会も兼ねるということで立ち上げます。第1回はそちらに書いてある期日で行います。来年6月ごろに予定されている青少年健全育成大会は中学校が発表する番ですので、このプロジェクトの取り組みについて各校、生徒会執行部から発表をしてもらおうと考えています。「・」5つ目です。十四山中学校の1年生が3月、中3の子たちが卒業したあと、弥中に行って、通学路体験、それから5時間目、合同授業、6時間目は弥中の学校見学。施設等の見学を予定しています。それから資料にはありませんが、次年度は広島研修を十四山中と弥富中で同じ日にとりました。被爆ピアノを使って両校の校歌を歌うとか、同じ曲を一緒に歌うとか、夕食のときには一緒に食べるとか無理のない範囲で交流ができるよう、今後計画を進めていきます。同様に1年生についても仲間意識が高まって親睦が深めることができる、何か心に残る楽しい課外活動ができないかと検討中です。楽しいことをたくさん重ねて、少しでも再編に伴う不安を取り除きたいと考えています。

- 部長より ありがとうございます。この件で何か、ご意見、ご質問ございますでしょうか。市長、何か気になるところは。
- 市長より カラフルですが、予約がいっぱいだという話ですが、スーパーバイザーが当たっていただいている。枠を増やすことは難しいんですか。もういっぱいいっぱいなんですか。
- 次長より バイザーも大学にお勤めとか自分で部屋を持っている方なので、今年度はとりあえず月2回。次年度はバイザーのほかにカラフルでもお手伝いしてもいいよというカウンセラーの方を入れて、もう少し回数が増やしていけるといいなと検討をしています。
- 市長より 今年度は難しい。スクールカウンセラーをそちらに少しお手伝いに回ってもらうということは。
- 次長より 今年度の中では、ちょっと厳しいと。

- 市長より 重要な案件か、重大な案件があると早期に解決するのが一番なので、ちょっと心配するんですけど。普通のね、なんでもないような相談ならいいんですけど。中にはあるかもしれないので。
- 次長より そういったときはバイザーも優先してこちらに足を運んでくれたり、助言をいただいたりと携わってくださっています。
- 市長より 予約サイトかなにかあるのですか。
- 部長より 電話で。
- 市長より 電話だったらいいですね。案件を聞けますので。
- 次長より そんなに詳しくは聞かないのですが。予約だけという形で。
- 市長より 切実な、本当にお困り事があると。
- 部長より もともと学校を離れたところでこういうのをやるというのは、気づきを増やしてあげたいというところから始めたので。
- 市長より そう。そこがもういっぱいだからと「待ってください」と言っていると、なんかちょっと、当初の目的が。
- 部長より 本当におっしゃったとおり、他でこれをやると半年待ちという、全然話にならないところですが、本当にそういう意味では助かっている。ありがたい動きです。
- 教育長より そんなことですので、今年に関して中学校にかなりの数を入れていただきましたが、まだ小学校についてはまだそこまでは至っていませんので。それも含めて、よろしくお願いします。

.....○.....

9. 閉会

- 部長より もし他にご意見なければ、よろしいでしょうか。どうも長時間ありがとうございました。

.....○.....